

### ③ 立花地区 【水土里ネット大館】

## 小学生のネギ植え・収穫体験～地域の自然や人々とのかかわり

今年で9年目を迎えた農業体験学習は、大館市立川口小学校3年生26名が参加し、農事組合法人立花ファーム、立花地区農用地保全活動協議会の協力のもと、立花ファームの農地を利用し、ネギの苗植作業と収穫作業を体験した。

6月は苗植体験が行われ、始めに小さいネギ苗の手植え作業を体験した後、機械による植付作業の体験も行った。また、10月26日には収穫体験が実施され、自分達で苗を植えたネギの収穫を体験した。6月の小さなネギの苗植え体験から秋の収穫まで、ネギの成長ぶりに子供達も驚いた様子を見せながら、一人10本のネギを指定の袋に詰めて収穫の喜びを楽しんでいた。

作業終了後の立花ファームのハウスで開かれた質問コーナーでは、回答者を悩ませるような質問が出され、子供達の熱心な様子が印象的だった。ネギを食べて風邪をひかない元気な体になってほしいと思う。



活動体制	
実施主体	農事組合法人立花ファーム
後援・連携	大館市土地改良区
実施期間	①6月8日(金) ②10月26日(金)
参加者	川口小学校3年生26名、教員2名
報道関連	なし
活動実施年数	9年(H16年～)
連絡先	〒017-0056 大館市字沼館道南40-12 大館市土地改良区 TEL.0186-42-0558
その他	

#### 【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット大館(石田 誠孝)

○活動の目標及び達成率	目標	地域で活躍している方々から様々な事を学ぶ農業体験学習			
	達成率	100%			
○活動に対する評価	・学校との連携が深まってきているので今後も継続していきたい。				
判定基準	自己判定(達成度)		判定基準	自己判定(達成度)	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			④運動のPR	C	PRの方法を検討していきたい。
①役職員・組合員の参加	B	水土里ネットの役職員、組合員が参加している	4. 運動の成果		
②後継者育成の工夫	C	水土里ネットとしては行っていない	①他組織との連携構築	A	川口小学校との連携が構築されている
2. 活動の意匠性について			②地域住民等の理解	B	回数を重ねることに理解は得られていると思う
①基本理念の設定	B	地域と共に歩む方向性を提示	③施設管理・地域資源の保全強化	B	繋がっている
②地域の歴史等の伝承	C	今後は、地域の歴史も伝えていきたい	④運動の地域づくりへの関わり	B	運動の継続で関わりが拡大している
③運動の先駆性	A	ネギ(畑作)の体験学習は他とは違う運動となっている	⑤農地・水・環境保全向上対策への貢献	A	地域資源の保全強化に貢献している
3. 運動の継続性・発展性			⑥地域農業振興への貢献	B	地域農業のPR等貢献している
①運動の継続性	A	学校側の協力を得ながら継続している	5. 今後の課題等について		
②運動の発展・拡大	B	運動内容の発展性は薄いが、体験した子どもたちは拡大している	・地域法人の協力があるので、無理のない運動を継続していきたい。		
③運動の計画性	B	小学校と連携し、計画のもと行っている			

(自己判定) A: 大いに達成している B: 達成している C: 少しは達成している D: 達成していない E: その他